

—あおぞら—

第62回年会(2021年9月15~17日オンライン開催)に奮ってご参加ください

第62回大気環境学会年会長
埼玉県環境科学国際センター研究所長
大原 利真

第62回大気環境学会年会は、2021年9月15~17日に茨城県土浦市で開催する予定で準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していることから、やむなくオンライン形式に変更して開催することになりました。オンラインでの年会開催は大気環境学会にとって初めての試みであり、昨年の第61回年会の誌上開催に続いて現地での開催ができないことになりました。会員の皆様のご理解とご協力・ご支援を切にお願いするものです。

オンラインでの開催は、これまでの年会が提供してきた、多くの会員が集まって対面で会話・交流することによる会員相互の情報共有や意見交換、親睦を深める絶好の機会が大きく変化することを意味します。一方、大気環境保全に係る調査研究の推進をミッションとしている大気環境学会にとっては、オンライン開催を経験することにより、環境負荷低減の観点から持続可能な年会の開催方法について今後検討する契機になろうかと思えます。また、オンライン開催によって、年会への参加がしやすくなるという全国各地の会員の皆さんも少なくないかもしれません。本年会では可能な限り、従前の年会に近い形で、かつ、参加者が空間的に離れていても多くの対話や交流ができるようなオンライン開催を目指しています。また、機器展についても、企業と会員の皆さんが多様な形で交流できるような場の創出に努める所存です。さらに、大気環境の視点から新型コロナウイルス感染症問題を市民とともに考える場として、「COVID-19と大気環境」をテーマとした公開シンポジウムを企画しております。

会員皆様のご協力により、これまでに約300名のご参加(7月末日時点)と243件の一般研究発表の申込み、ならびに10の分科会全てから分科会企画開催のご連絡をいただきました。第60回年会までの集会形式での年会よりも一般研究発表は少ないものの、多くのご参加をいただき、ありがとうございました。また、実際の機器展示が無いにもかかわらず、公開シンポジウムへの協賛をはじめ、オンライン展示や技術セミナー、広告などに22社より41件の協賛のお申込みをいただきました。財政面で支障なく年会を開催できるかどうか懸念していたところではありますが、おかげさまで問題なく開催できそうです。協賛にご協力をいただきました企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

3日間の年会期間中には、午前中に一般口頭発表セッションを3つの会場にて平行で開催します。また、1日目(9/15)午後にはポスター発表のライブ質疑、2日目(9/16)午後には年会総会(学会賞授賞式、昨年度と本年度の学術賞記念講演を含む)・公開シンポジウム・オンライン懇親会、そして3日目(9/17)午後には2つの特別集会を予定しております。学生・若手の方々を対象とした口頭発表賞とポスター賞も用意しております。

多くの会員の皆さんが年会にご参加下さることを希望・期待して、年会長としてのご挨拶に代えさせていただきます。なお、参加申込みは年会3日目の9月17日まで可能ですので引き続き、申込みをお待ちしております。